

健康文化

主婦の環境問題

権平 栄

最初の子供を生んでから、はや数年経ちましたが、現在も続いている3人の子育てと生協との関わりのおかげで、充実した生活を送っています。

生協に入ったきっかけは、ほとんどの人がそうであるように、子供達に、より安全なものを食べさせたいという理由でした。生協に入って、先ずはじめの驚きは、市販されている食品の中で、安全で安心して食べられるものが殆ど無いということでした。

食品添加物といっても、ハム・ソーセージ類に入っている位のことしか知らずにいた私にとって、殆どの食品に含まれていて、しかも野菜には多量の農薬が散布され、体内に取り込まれた農薬は、母乳を通して次の世代へと蓄積されていく、と知った時はショックでした。子供達のガンも増えています。アトピー性皮膚炎は、ほとんどの子供にあらわれる時代です。わが家の次女も時々鼻が詰まって、くしゃみが出て、ゼーゼーしだします。アレルギー性のものだと言われました。何が原因なのか分からない位、今の世の中は汚れています。現実を知れば知る程恐ろしくなり、今の子供達は、この先何年生きられるのだろうかという不安な気持ちにもなります。しかし、子供を健やかに育てていくには私達の手で、少しでも地球環境を守っていかなければと思うのです。

そんな折り「生協」が安全食品ばかりでなく、“より良い暮らしを求めて”みんなの力で出来た「生活共同組合」であることを知ったのです。より良い暮らしを求めて頑張っている人が大勢いました。平和運動をしている人達、家計簿をつけることによって生活を見つめ直そうと云う人達、少しでも安い灯油を手に入れるために走り回っている人達、そして環境問題に取り組んでいる人達と……。

私は、自分自身、一番関心のあった環境問題を考えてみたいと思い、その仲間に入れていただいたのが2年ほど前、ちょうど3人目がお腹にいる時でした。まず、当時みんなの関心の高かった牛乳パック回収から始めました。「捨てればゴミ生かせば資源」—牛乳パック回収が軌道に乗るまで1年かかりました。現

在、回収された牛乳パックは、静岡の製紙工場へ運ばれて、そこで他の古紙と合わせて、トイレットペーパーに再生されています。

最近ようやく、行政の方も動きだし、空き缶や空き瓶の回収も始まりましたが、まだ、ごく一部の地域で行われているだけで、多くの人の意識は低く、資源回収はまだまだ、これからのようです。

今年は、洗剤についてや水についても勉強しております。私は以前、友達からの話で合成洗剤が体によくないことを知り、石鹼を使うよう努めてきましたが改めて、合成洗剤と石鹼の違いを調べてみました。最近は、“環境にやさしい石鹼を使いましょう”という新聞などの記事もかなり目立つようになりましたが、コマーシャルの力は大きく多くの方は合成洗剤を使っているようです。石鹼も使いすぎの弊害を持ってはいますが、合成洗剤の成分は分解されにくく、水にそのまま残留していることもあるのです。石鹼に切り替えただけでアトピー性皮膚炎が治った人もいます。

合成洗剤中には、「蛍光増白剤」という発ガン性物質も含まれています。子供の制服のブラウスやワイシャツ・体育着をはじめ多くの衣類は「白さ」を強調するために、この蛍光増白剤入りの繊維が使われています。現在は赤ちゃんのオムツやフキン・ガーゼ類には使用が禁止されています。が、そのオムツを合成洗剤で洗っている人が今も大勢います。

先ごろラジオで、自分は“環境を守るために”皿についた油をぼろ布等で拭いていても、隣の人が流しにそのまま油を捨てているのでは、と想うと空しくなると語っていた人がいました。自分に出来る限りのことをすることが大切なのではないのでしょうか。毎日の事なので、やはり、子供達のためにという気持ちがあるから出来るのかも知れませんが……。少しでも、河を汚さないために、お皿の油は拭き取る、細かいゴミを流さないように排水口のかごにはストッキングをかける、米のとぎ汁・うどんのゆで汁等、出来る限り庭に捨てる。庭の植物の肥料にもなります。米のとぎ汁は思いのほか汚染源となっています。

水道水もまたトリハロメタンと云う発ガン性物質によって汚染されています。水の消毒のために加えられる塩素が、水の中の有機物と結合する結果できるものがトリハロメタンなのです。浄水器を買って水をきれいに処理して飲めばよいと片付けないで、前向き（根本的）に、自然の水をきれいにする努力を、一人一人がしていかなければと思うのです。自然の水が汚れると消毒のための塩素を多量に使うことになり、その分余計に水道料金も高くなっていくそうです。

今年4月に「廃油石鹼作り」にも挑戦いたしました。次のようなメニューです。

〔はじめの日〕 廃油（食用油のいろいろ）……1リットルに対して

（100℃に熱する）

カセイソーダ……150グラム

残りご飯……100グラム

熱湯……1リットルを加え、20分ほど攪きまぜておく。

〔1日置き〕に4回、熱湯1リットルずつ加えて、20分ほど攪きまわす。総量6リットルの石鹼水の出来上りです（ただし出来てすぐは、アルカリが強いので1カ月おいてから使う）。この“あめ色、プリン状”の石鹼は、洗浄力もあり、使い易いなど好評です。台所用としてだけでなく換気扇・風呂場・トイレなどの洗剤としても、数ある市販の住居用洗剤にかえて重宝しています。何度か作っているうちに、5歳の長女が“わたしにも”と言って、手伝ってくれています。廃油の石鹼工場を持つ生協が東京方面にあると聞いていますが、「捨てればゴミ、生かせば資源」－資源に回せば捨てるゴミは、ほんとうにごく僅かになります。ちなみに、わが家の生ゴミは、コンポストで堆肥にして、家庭菜園を楽しんでいます。虫と共存しながら、今年もキウリ・トマトにピーマンと、沢山食べました。この冬も又、おいしい大根や冬菜が頂けるように、種を蒔いたところです。（1991.9.26.）

（元新潟大学細菌学講座研究生）